

# 週刊新社会

9月10日 2019年号外 野田市版

振替 00140-0-149727 1ヵ月 600円 1部 150円 41円  
 http://www.sinsyakai.or.jp/  
 発行所：新社会党 E-mail/honbu@sinsyakai.or.jp

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3F Tel. 03-6380-9960 Fax. 03-6380-9963

国会を早期に開き懸案の国政課題を議論せよ

## 議会一般質問始まる

### 道の駅問題を2議員が質問・焦点に

9日から一般質問が始まった。清国会5、共産党3、民主連合と公明党各2、一人会派は全員の16名が質問に立つ(表1)。

質問内容は多様で、9日は参議院選挙の投票動向、発達障害問題、災害時の避難対策、福祉タクシー券利用の改善、蘇生中止に対する見解、男女共同参画、中小事業者支援、建設業法等の改正と公契約条例、街路樹管理、国保料引き下げ、プラスチックごみの減量とリサイクルなど。

10日はホテル等の駅前の街づくり、道の駅建設、友好都市等の自治体交流、公共施設のWi-Fi環境、結婚や出産奨励制度、県道結城野田線整備、下総利根大橋の無料化時期と対策、いじめ問題、消防団

のあり方、庁舎の夏季室温設定、職員採用、健康マイレージ、生産緑地制度、耐震改修補助金等の代理受領制度による負担軽減、子育て支援のチーパス対応、電子看板導入、オリンピック、パラリンピック対応。

11日は行革大綱と職員体制、学校給食無料化、危険なブロック塀対策、熱中症とエアコン利用、連続立体交差事業と関連道路建設、野田市駅西区画整理事業、国保料引き下げ等、太陽光発電対策、七光台尾崎線整備、埋蔵文化財と博物館、愛宕駅周辺地区の側溝整備と地籍調査、新子ども館整備、景観行政。

詳細は議会ホームページのトッ

表2 一般質問通告者と日程

開会は10時から

日程	順位	通告者	会派
9日(月)	1	中村裕介	政清会
	2	中村あや子	公明党
	3	小椋直樹	民主連合
	4	長 勝則	日本共産党
	5	小室美枝子	市民ネット
10日(火)	6	栗原基起	新しい風
	7	谷口早苗	無所属の会
	8	池田利秋	地域クラブ
	9	木名瀬宣人	政清会
	10	吉岡美雪	公明党
	11	滝本恵一	民主連合
11日(水)	12	織田真理	日本共産党
	13	山口克己	政清会
	14	星野幸治	日本共産党
	15	木村欽一	政清会
	16	染谷信一	政清会

ページ中、『9月定例会一般質問通告項目』を更新しましたのでチェックを。

表1 9日からの議会日程

日程	開議時刻	会議	会議内容
9日(月)	10時	本会議	一般質問
10日(火)			
11日(水)			
12日(木)	10時	総務	各委員会 で議案等の 審査
	13時	文教福祉	
13日(金)	10時	環境経済	
	13時	建設	
17日(火)	10時	決算審査 特別委	平成30年 度各会計決 算の審査 委員長報 告、質疑、 討論、採決
18日(水)			
19日(木)			
25日(水)	10時	本会議 (閉会)	

## 県内主要駅頭で最賃キャンペーン

きびしい残暑が残る7日、JR柏駅を皮切りに県内7駅頭で「いまこそ最低時給1500円! 同一労働同一賃金!」を掲げた最賃キャンペーンを、ユニオンなどからなる千葉キャラバン実行委員会が行った。



青年層の関心は高く、チラシ入りのティッシューパーの受け取りがよかった。写真は柏駅ダブルデッキで。

# 市長の市政報告から まめバス苦闘 待機児童問題 保育所新給食費

## まめバス乗車低下

運行ルートとダイヤの大幅な見直しを 4 月 1 日に行ったまめバスは苦闘中だ。

「それぞれの生活圏域に合った、より生活に密着した便利なまめバス」として見直しを行ったが、7 月末までの乗車人員は 1919 人の減となり、1 便当たりの利用人数では 7.4 人。対前年度比で 5.6 人も減ってしまった。

この原因を調査及び分析するとしながらも、まずは周知を徹底したいとしている。おずかしい課題

だ。

## 深刻度増す待機児童

待機児童問題は深刻だ。8 月 1 日時点で 51 人となり、これに「保留者」を含むと 199 人。このうち 162 人が保育士不足によるものという。間違いなく保育行政をコスト優先としてきたツケがこの数年表面化してきているといえる。野田市行政の責任だ。

7 月 1 日に認定子ども園が新たに開設され、これまでの幼稚園児の満 3 歳以上とこれまでの保育園要件を満たす児童、あわせて定員

129 名増となっている。つまり、施設が開設されてもそれに対応する保育士不足が続いていることになる。

そこへ 10 月からの幼児教育・保育無償化によって例年に比べ申込数が増加しており、制度変更の影響の予測はつかない。もちろん野田市の責任よりも自治体を誘導している国のご都合主義の政治責任が重いことは言うまでもない。

## 新給食費対応は

保育所の無料化に伴う給食費問題の対応は次のとおり。

各施設で給食費の設定を行うが、市直営と指定管理者の保育所では月額的主食費 400 円（うち、200 円は市が補助で実質 200 円負担）、副食費は 5200 円で合計 5400 円となる。

なお、年収 360 万円未満の世帯の場合はこれらの負担を免除する。これらの世帯について国は副食費免除のみだが、主食費は野田市独自免除となる。

## アベノミクス以上の経済政策を

## 安倍政権に勝つために 松尾匡講演会

参議院議員選挙でまさかの大躍進をしたれいわ新選組の経済政策顧問とみなされる、松尾匡<sup>ただす</sup>立命館大学教授を招いた講演会が 8 日、鎌ヶ谷市内で開かれた。主催は千葉 13 区市民連合（鎌ヶ谷市、白井市、印西市、富里市、柏市のうち旧昭南

町、船橋市一部、酒々井町、栄町）。

松尾教授は理論経済学者で反緊縮経済の旗頭。野党はこれまでのアベノミクス批判では選挙に勝てない、それ以上のしかも人に対する経済政策を打ち出さなくてはならないとの持論を展開した。

まず野党は安倍政権で経済が上向いた事実は事実として認めること。その上で実例として共産党推薦（新社会党も支持）のみの京都知事候補がまさ

かの大健闘、辺野古問題だけにはなかった玉城候補の経済政策、その逆で経済政策が弱かった新潟県知事選の池田陣営と北海道知事選、経済政策がこれらの勝負を分けたと経済政策の重要性が訴えられた。

圧巻は大阪維新の会の大阪市長選挙のチラシ。激安で有名な大阪の「スーパー玉出」のチラシと見まごう出来だ（図）。大阪維新は緊縮政党から様変わりして圧勝したと松尾教授は主張。貧困と不安に答える経済対策を衝撃的に打ち出した例がれいわ新選組だと総括。

子育て・教育応援！

- ★ 幼稚園保育料(全額) 保育所保育料(教育費相当額) **無料**
- ★ **62万円** お得

子育て・教育応援！

- ★ 私立高校授業料 **無料**
- ★ **180万円** お得

子育て・教育応援！

- ★ 18歳までの子ども医療費 **無料**
- ★ **46万円** お得

子育て・教育応援！

- ★ 塾代月 1万円 **無料**
- ★ **36万円** お得

子育て・教育応援！

- ★ 新婚・子育て家庭向け住宅ローン利子補助
- ★ **50万円** お得

子育て・教育応援！

- ★ 妊婦健診 14回分全て **無料**
- ★ **10万円** お得